

令和 6 年 5 月 28 日

報道機関 各位

令和 6 年能登半島地震に関連する
海洋調査の取材について（お知らせ）

富山大学・九州大学・長崎大学からなる研究チームは、令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震を踏まえ、5 月 31 日～6 月 2 日より長崎大学附属練習船「長崎丸」（写真 1）を用いた海洋調査を実施します。

令和 6 年 3 月 4 日～16 日に学術研究船「白鳳丸」で実施した能登半島近海の海洋調査の結果を踏まえ、令和 6 年能登半島地震後の富山湾の海底地すべりおよび周辺海域で採水・採泥調査、3 月に設置した乱泥流観測機器の回収を実施し、地震・津波による富山湾の海洋環境や海洋生態系への影響を調査します。本調査航海には、富山大学理学部自然環境科学科（自然環境科学プログラム）授業の「野外実習」と「卒業論文」、大学院持続可能社会創成学環の「サステナビリティ先端研究」の一環として、大学院生 8 名・学部生 19 名が参加して海洋調査を行います。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

なお、当日取材に参加された報道機関に対しては後日、調査写真、データ等の速報を提供いたします。

記

- 日 時 令和 6 年 5 月 31 日（金）
出航前 15：00～16：00（船内撮影・調査機器の説明）
出航 16：30
- 場 所 射水市海王町 25（伏木富山港 海王岸壁）
- 乗船教員 張 勁・堀川 恵司・鹿児島 涉悟（富山大学）
千手 智晴（九州大学）



写真 1：長崎大学附属練習船「長崎丸」

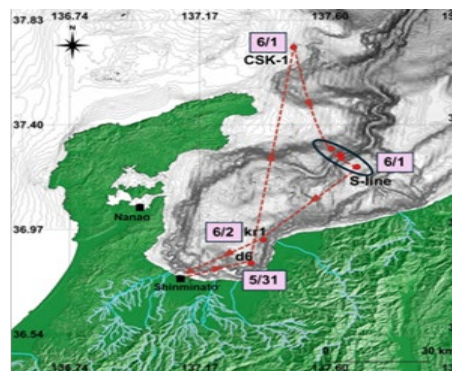


図 1. 富山大学海洋実習の調査地点

(参考) 実施概要

目的

- ・ 富山湾深海長谷内部における令和6年度能登半島地震後の海底実習調査
- ・ 富山湾深海長谷内部の海洋構造調査と流動の計測
- ・ 黒部川沖合における令和6年度能登半島地震後の海底実習調査
- ・ 魚津沖海底湧水の実習調査
- ・ 能登半島北東部におけるガスプルームの実習調査

1. 観測海域（図1を参照）

- ・ 富山湾北部の富山湾深海長谷内部及びその斜面
- ・ 黒部川、早月川沖合
- ・ 能登半島北東部

2. 調査内容

- (1) マルチプルコアラーによる海底堆積物採取
- (2) 係留系（流速計・濁度計・セジメントトラップ）の回収
- (3) マルチナロビーム音響測深機による海底地形調査
- (4) CTD 観測及び各層採水
- (5) プランクトンネットによる動物プランクトン採集
- (6) エアーサンプラーによるエアロゾルの採取
- (7) 表層環境モニタリングシステムによる表層海水の水温、塩分等のモニタリング

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学学術研究部理学系 教授 張 勁

TEL : 076-445-6665 Email : jzhang@sci.u-toyama.ac.jp

富山大学学術研究部理学系 特命助教 鹿児島 涉悟

TEL : 076-445-6577 Email : kagos@sci.u-toyama.ac.jp